

# 中心静脈カテーテル関連感染防止のために マキシマルバリアプリコーション (MBP) を実施しよう！

ICT ニュース 2月号  
院内感染対策委員会

## 挿入直前のチェック！！

❗ 刺入部の汚染は除去されていますか？

ドレッシング材のりでの汚染、排泄物での汚染はありませんか？

❗ 材料の確認！袋に入っているもの

滅菌大判ドレープ・サージカルマスク（フェイスシールド付き）キャップ

**3月からセット化になります！**

CVCのキットと一緒にMBPがセット組になりました！用度から払い出しされます  
誰でも、必要な物品を準備できます！



滅菌手袋はDrの  
各サイズを準備  
してください



袋の中の物品

血液曝露から守るために  
シールド付マスクです

血管内カテーテル由来感染のためのガイドラインの中でも、高度無菌遮断予防策（MBP）は強く実施を勧告されています。

実施することにより、細菌の定着率と敗血症の発生率が有意に低いことが報告されています。

血管内留置カテーテル由来の血流感染症は、発生すると重症化しやすく、12～25%の死亡率といわれています。私たちは、これを実践する義務があります。



手指消毒をしてから装着